

平成28年度 地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
上飯田 地域ケアプラザ	社会福祉法人 公正会	A	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康福祉局のモデル事業の中でスタートしたコミュニティカフェが定着するとともに、高齢者も含め様々な世代が参加できるような事業を展開しています。また、施設利用マニュアルの改正にあたっては、利用者向けの説明を円滑に行いました。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事会やサロン、教室参加への呼びかけなど継続相談に結び付かない高齢者の見守りも含め、相談者の状況に応じた対応を行っています。 出張相談会の実施や区民向け権利擁護の講座開催等地域への相談会や情報発信に努めています。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域に入って情報収集をし、丁寧に情報の整理ができています。資源・ニーズの把握及び分析はケアプラザ全体で行う意識をさらに強く持ち、全職員が一体となって事業を進めるように連携を深めてください。
下和泉 地域ケアプラザ	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会	S	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の活動に積極的に参加し、情報収集・情報提供や地域の関係機関・関係団体との良好な関係作りを行っているとともに、地域防災拠点運営委員会のような、日頃のケアプラザの業務とは直接関わりのないような場にも積極的に出向き、広く地域の課題を把握しています。また、各活動団体と協働した事業展開ができています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談者の状況に合わせた丁寧な対応を行っています。地域へ積極的な発信を行いました。特に消費者保護などの権利擁護、認知症の声掛け模擬体験等の普及啓発活動を行いました。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民と一緒に資源や課題を確認し、今後

			<p>の検討につなげるという会議としての明確な目標を持ち、市内に前例がない中で協議体を開催できました。</p>
<p>踊場 地域ケアプラザ</p>	<p>社会福祉法人 神奈川県匡済会</p>	<p>A</p>	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館情報がわかりやすく提供され、高い利用率を維持できています。動画で活動を紹介できる取組を始める等、インターネットや受付端末を活用し、様々な方法で情報提供を行っています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロンでのノルディックウォーキングなどの介護予防事業に積極的に取り組みました。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の数が多い地区で関係作りにも時間がかかる部分もあると思いますが、地域が何を求めているのか丁寧に把握を進めてください。
<p>いずみ中央 地域ケアプラザ</p>	<p>社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会</p>	<p>S</p>	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当地区内の自治会・町内会のほか、高齢者、子育て、障害の各分野の関係団体とも連携し、良好な関係が築けています。また、地域の状況を的確に捉え、独自に作成した「いずみ中央エリア見える化シート」及び「社会資源まるごとリスト」を地域支援に活用しています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応においては、当事者のみならず家族や地域の状況を踏まえて対応しています。認知症サポーター養成講座を積極的に実施しました。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <p>地域の資源やニーズについての情報収集を6職種で協力しながら行い、共有することができており、職種間での共有のモデルとなる良い取組ができています。</p>

<p>新橋 地域ケアプラザ</p>	<p>社会福祉法人 開く会</p>	<p>A</p>	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用しながら新規事業を企画・実施し、男性や多世代交流など幅広い利用者層の利用につながるよう取組を行っています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年を通じて職員に欠員が生じています。 ・地域の関係機関に積極的にに関わり、ネットワークの構築に努めました。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と取組事項について地域住民等と共有できたことは大きな一歩だと思います。今後具体的な取組やスケジュールも地域と共有しながら進めて下さい。
<p>いずみ野 地域ケアプラザ</p>	<p>社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会</p>	<p>A</p>	<p>(地域活動・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設後の短い期間の中で、ケアプラザ機能の周知に努めるとともに、多くの自主事業を立ち上げ、多数の住民の参加を得ています。地域の関係団体との連携、情報交換等も積極的に進めています。 <p>(地域包括支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンや行事に積極的に出向き、関係の構築と地域状況の把握に努めています。介護予防の講座開催などを積極的に行っています。 <p>(生活支援体制整備事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設ケアプラザのため、ケアプラザの周知と、新規事業である生活支援体制整備事業の周知などが重なりながらも、ケアプラザ全体で職種の枠を超えた取組ができています。

※評価の基準は区によって異なります。

【評価の考え方】

評価	内容
S	・特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設
A	・事業の実績が良好であった施設
B	・改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設